

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	03	03	104290	大迫中学校改築事業費	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-2	学校教育の充実			
	施策	4	教育環境の充実			
目的	学校施設の環境整備					
対象	大迫中学校施設					
意図	学校の適正規模を見通し、安全・快適な教育環境を提供する。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○大迫中学校校舎等改築 26年度～ 用地・現況測量 27年度～ 基本設計、地質調査、実施設計、屋外環境実施設計 28年度～ 校舎改築（29年度まで）、通学路整備実施設計 29年度～ 屋体・校舎解体、通学路用地測量・補償調査 30年度～ 屋体改築（31年度まで）、通学路用地・補償物件取得 31年度～ 屋外環境、クラブハウス等整備、通学路整備（32年度まで）						
市民参画の有無 [有 関係団体等からの意見聴取]						
市民協働の形態		共催	○実行委員会・協議会		事業協力・協定	
		後援・協賛	補助・助成		委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 実施設計業務	%		計画		100	
			実績		100	
② 大迫中学校校改築事業進捗率	%		計画	5	30	
			実績	5	30	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 耐震改修済中学校数	校		目標	11	11	11
			実績	9	9	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
文部科学省では、平成27年度末までに全ての学校施設の耐震化を完了することを目標にしており、各自治体もその目的達成を求められているため。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・学校の設置については、教育基本法に基づき市が設置者となり行うものである。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	・市内全学校施設を耐震化するため計画的な改築を行っている。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・シンプルな構造を基本にしながら学校施設としての機能を確保することとし、事業費の削減に取り組んでいる。 ・大型の新規追加事業であり人員の削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある ○ どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	・学校施設の改築については、市が主体的に行うものである。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある ○ 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
当初から改築することを前提にしており、それに伴い、大規模な修繕等を実施してこなかったことから、早期に改築を進める。また、生徒数の減少が今後進んでいくことを踏まえ、将来を見越した施設規模とするものである。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	10	03	03	104290	大迫中学校改築事業費

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		102,313	503,623		401,310
財源 内訳	国・県				
	地方債	31,800	480,000		448,200
	その他				
	一般財源	70,513	23,623		△ 46,890

事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度繰返	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定	[平成 26 年度 ~ 平成 32 年度]
------	--------------------------------	--	-----------------------

部重点施策における目標
夢と希望をもち、たくましく生きぬく子ども達を育む学校教育の充実

事業開始の背景・経緯
大迫中学校は、昭和43年に建築された学校であり建築後45年が経過し、老朽化が著しい状態であること、改築を前提としていることから耐震補強を行っていないため安全確保のため早期に状況を改善したい。

事業概要
○大迫中学校校舎等改築
26年度～ 用地・現況測量
27年度～ 基本設計、地質調査、実施設計、屋外環境実施設計
28年度～ 校舎改築（29年度まで）、通学路整備実施設計
29年度～ 屋体・校舎解体、通学路用地測量・補償調査
30年度～ 屋体改築（31年度まで）、通学路用地・補償物件取得
31年度～ 屋外環境、クラブハウス等整備、通学路整備（32年度まで）

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
・同一敷地内で改築を行うことから、学校活動に配慮しながら事業を進める必要がある。
・学校施設として使用しなくなった場合に、他の用途に改修しやすい構造に配慮する。

担当部署 部名 教育部 課名 教育企画課 担当係長 白藤 清和 内線 9-30-322

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

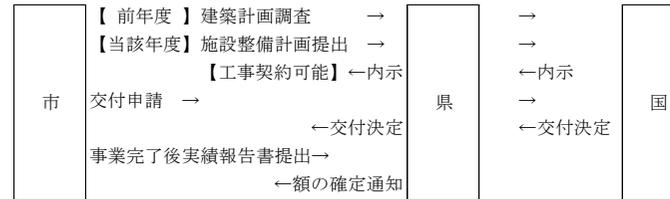
大迫中学校校舎改築事業

●事業概要

校舎：RC造2階建 2,796㎡（昇降口渡り廊下2含む） / 建築単価見込≒325,485円/㎡
屋体：S造1階建 1,175㎡ / 建築単価見込≒355,761円/㎡

●財源

★環境改善交付金（危険改築）事業 補助基準額×5.5/10(過疎)、過疎債100%



●事業費見込み
別紙による

平成 28 年度事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	10	03	03	104290	大迫中学校改築事業費

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

項 目	H26	H27	H28	H29 (H28繰越)	H29
現況測量・用地測量	5,600				
基本設計		22,032			
地質調査		5,173			
実施設計(校舎等)		60,141			
屋外環境実施設計		6,015			
補助監理			12,960	6,625	8,640
通学路・水路工事					
校舎改築工事			475,392		320,000
給水、下水道接続工事					
解体工事		9,450		60,000	130,000
屋体・昇降口改築工事				227,200	
自転車置場整備工事					
屋外環境整備工事					
クラブハウス改築工事					
屋外附帯工事					
駐車場等整備工事					
プール棟改築工事					
屋外照明設置工事					
学校・体育備品整備					37,400
建築確認等手数料			493	623	188
通学路整備委託			4,968		5,900
屋内運動場耐震診断			2,403		
通学路整備用地補償費					
備品等移設業務			5,992		5,100
その他			1,415	779	8,551
合計	5,600	102,811	503,623	295,227	515,779
国庫				78,698	
起債(地方債)		31,800	480,000	215,900	465,100
一般財源	5,600	71,011	23,623	629	50,679
H28国庫清算			45,194		